

内 容

* イギリスにおけるリカバリー研修ツアーの報告(7)

○ 経験に基づく専門家プロジェクト

ジャネットさん

* イギリスにおけるリカバリー研修の報告(7)

○ 経験に基づく専門家プロジェクト

ジャネットさん

(シェパード) 昨日はジュリーさんにパートナーシップの重要性というお話をしていただきました。私たち専門家とある種の専門性を持っている人たち、そして精神保健の経験をお持ちの人たち、自身が精神疾患の経験を持ち精神保健サービスを使った経験のある方たち、これらの方々が共に望んでいるサービスを達成するという事について、これからジャネットさんにお話しいただきます。

(ジャネット) 私は NHS の機関であるメンタルヘルス・トラストのユーザー研修コンサルタントで、学習開発チームのメンバーです。

これから私自身のリカバリーの歴史についてお話ししたいと思います。

私は躁うつ病と診断され、長期に渡り入院していました。そして私が自分のライフを取り戻そうと考え始めたとき、その道のりを助けた本当に大事だったのは研修者としてここで働いていた人たちです。その人たちは私を躁うつ病患者としては見ませんで、何か専門性を持っている患者として見てくれたのです。そして現在は研修のトレーナーとして見てくれています。この様に一緒に働く仲間として見てくれた周りの人たちの人間性で、私は救われました。

私は現在まで 6 年間研修に携わっていますし、地域の研修場所にも出かけて活動しています。最後に入院したのは 2007 年の 3 日間ですが、これは処方薬を調整するための入院でした。

現在私は自分の症状を、殆どの場合自己管理する事が出来ます。そして柔軟に働く事が出来ています。そして自分の強さという事にフォーカスして働いていますし、少し体調が良くないと感じたときは出来るだけ早くそれに対処するようにしています。リカバリーというのはこの様な事で、対処して仕事に復帰するという事です。仕事というのは私にとって一番の助けでもありますし、自己評価するためにも大変重要なことです。そして仕事を持つことによって地域参加が来ています。



何か質問はありますか？

(シェパード) 人々にとって夫々が様々な局面を持つという多面的な人生はとても重要なことです。私は心理療法士です。そして父親でもあり息子でもあります。そして私は父親であるという様な一つだけの人生は持ちたくないです。

そしてジャネットさんは患者さんではありますが、その他に多面的な部分が有りますよね。

(ジャネット) ハイ私は患者であるほかに人生で多面的な面を持っています。

(シェパード) ですから私たち専門職は、患者さんを単に患者さんとして見るのではなく、どの様な技能を持っていて魅力的で社会に貢献できる人であるなど、色々な局面を見るという事がとても大事な事です。

(参加者) このお仕事をごどの様に見つけましたか？そして難しいことは有りますか？

(ジャネット) 仕事の方が私を見つけたように思います。この様な仕事があると声を掛けられました。そして難しいと感じることは有りません。でも私の記憶力がもつと良かったらと思うことは有りますが、色々工夫しながら進める事が出来ています。私が今行っていることが一番好きだという事が、今ここまで行ってきてやっと解りました。

(シェパード) 非常に興味深いお話でした。それではここから貴方の強みについて話していただけますか？

(ジャネット) 私は精神保健サービスというなかで生き残りました。そしてどの様なレベルの人と話すことも難しい事とは思いませんし、安易に人を判断する様なこともしません。以前私はケンブリッジでソーシャルワーカーをしていましたが、躁うつ病が原因で退職しました。

(ジャネットさんの上司) ジャネットさんはとても調査や研究に強みが有ります。研修が始まるまで最新の情報を集めるような努力家です。そしてコースに参加する人たちの話をよく聞いて、彼らが何を求めているのかという事を良く考えて研修を進めています。傾聴するという事は単に聞くという事以上にとても難しいことです。グループワークから彼らの考えを吸い上げるという事を行っております。そして彼女の本当の長所は、正直さと開放性です。



彼女は研修する時に、彼女自身が使っているサービスについても話しますが、その話をするときでも彼女は専門職の立場に立って話をします。

話せることは色々ありますが、この辺りで止めておきます。そして彼女はとても愛らしい方です。

(ジャネット) ここからはソーシャルワーカーを辞めたあとのことをお話したいと思います。

私は偶然、ある仕事の求人広告を見ました。そしてそこには精神病の方に応募して欲しいと書いてありました。私はこれまで精神病の事を隠して仕事をしていましたので、精神病の方を探しているという事に驚きました。

(シェパード) この求人は、情報提供職員としてユーザーグループの機関で働く方を募集していたのです。

(ジャネット) 私はこの募集を見て勤務することにしました。そしてこれがソーシャルワーカーを止めて最初に就いた仕事です。パートタイムの勤務でした。そしてこの仕事をする事で組織内に名前が知られるようになり、今の仕事に替わることになりました。

(シェパード) 貴方は一人しかいませんが、貴方のような立場で仕事をしている人はケンブリッジにどの位いますか？

(ジャネット) 今の質問は、これから説明するスライドの中にありますので、スライド「経験に基づく専門家プロジェクト」で説明していきます。

私は上司のキャロルさんと一緒に働いていて、研修プログラムを運営しています。そしてその事業名が「経験に基づく専門家プロジェクト」と言います。

このプログラムはサービスユーザー（患者さん）のために運営されています。そして私の希望はより多くのサービスユーザーに参加して欲しいのです。

サービスユーザーが自身を持って自分の物語を、自信を持って話していけるようにする研修になっています。そして今まで 20 名のサービスユーザーを専門家になれるように研修をしました。研修だけでなくリサーチも行いました。

また求職者の面接をする面接官の研修もしました。

この様にサービスユーザーを教育し組織の色々なところに専門家になったサービスユーザーを送り込むことで、組織の活動にサービスユーザーの声が反映される様な組織を目指しております。

(シェパード) 昨日の研修を思い出してください。ジュリーさんがサービスユーザーを教育していくこと、そして組織に如何に参画していくか、職員の理解を高めるために如何に貢献しているか、同じようなことをノッキングムでも行っていることを思い出してください。

(ジャネット) これは私とキャロルが行った研修を受けたサービスユーザーの一人のコメントです。

(シェパード) 通訳さん和訳してください。

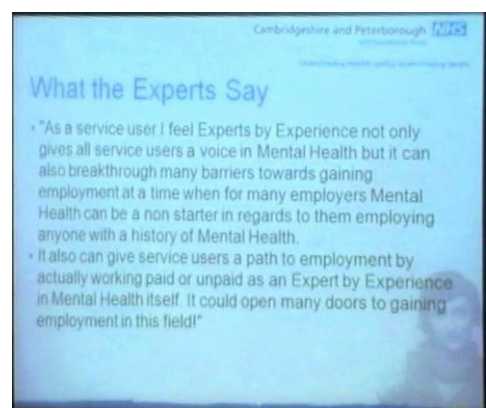
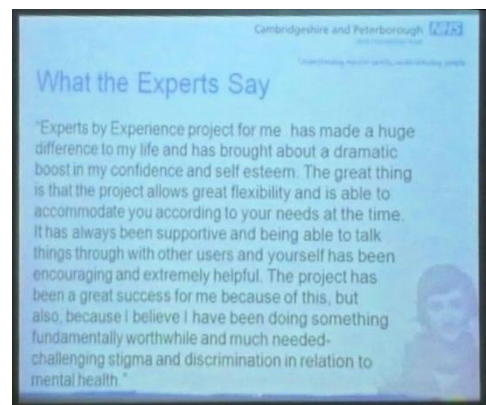
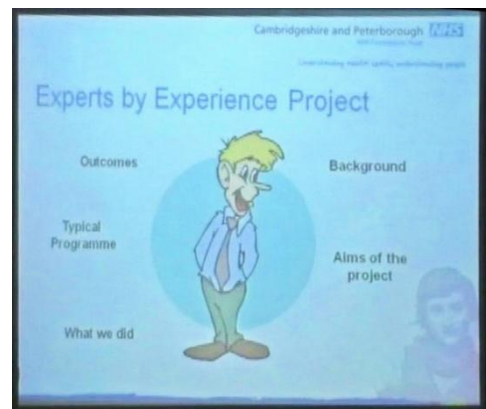
(通訳) 「この研修は私の人生において大きな変化をもたらしました。私の自信と評価を劇的に高める事が出来ました。この研修は柔軟性が有って、私たちのニーズに合わせて行ってくれました。そしてとても支援的で多くのサービスユーザーと話し合うことも出来ました。私はとても勇気づけられ、本当に助けになりました。この研修に参加したことは、私にとって大きな成功でした。何故かという、私は非常に価値の有ることが得られたと信じているからです。特に精神保健に対するスティグマや差別にチャレンジしていくことは必要なことです。」

(ジャネット) 福祉給付金を受け、仕事を見つけ仕事に就き、自立して生活していくのはとても大変なことです。今迄長い間福祉給付金を受け生活してきましたが、仕事に就き自立して生活していくことの大切さを訴えています。

(シェパード) 昨日コントロールと期待について話をしましたが、話し合いが非常に重要で徹底的に話し合いその中から結論を得ることが大切なのです。

(ジャネット) 人々は私の行いを見て、彼女が出来るなら私もやってみようと思うかもしれませんが、という様に勇気づけになります。病気をしたことで私は私のライフを失いましたが、今の仕事が私自身を取り戻してくれました。

(シェパード) 今ジャネットさんが言われたことが、リカバリーの完璧な定義です。ジャネットさんはライフを回復したと言いました。これは症状が無いという事ではありません。



(参加者) 就職案内もしているのですか？

(ジャネット) 20 人の研修をしましたので、夫々の方の強みなどは理解しています。そして求人が来た場合は、どの方に適しているかを考えて案内をするようにしています。

(シェパード) どの様な専門家を欲しているか、など例を持って話してくれますか。

(キャロル) 今週受けた求人ですが、新人を受け入れるための面接官の要望を受けました。研修が終わった時、サービスユーザーがどの様な専門職として働きたいかという希望も聞き取りをして持っています。そのデータベースを活用して求人内容に沿って専門職として就業して頂きます。このデータベースは秘密保持をしながら我々自身がサービスユーザーのためを思い活用するもので、公開するデータではありません。

また別の求人として、トラストが書籍を発行するにあたり原稿のチェック者という要求もあります。これは一般の読者が読んだ場合でも理解できる内容になっているか、という事をチェックする業務になります。

(シェパード) キャロルさん有り難うございます。この様にジュリーさんがお話しされた通りの事が行われていることを理解いただけたことと思います。

この様にサービスユーザーグループに研修を受けていただき、専門職としてのスキルを身に付けていただくのです。そしてグループの夫々がスキルアップし、また次のサービスユーザーのスキルアップにつなげていくという循環を生み出しています。

(シェパード) ここで話は少し変わりますが、ジャネットさんやキャロルさんの給与は何処から出ているのでしょうか？

(ジャネット) NHS のトラストから給与を受けております。

(シェパード) 皆さんに質問です。ジャネットさんやキャロルさんのようにサービスユーザーが専門職になること、そのための研修などを実施することに、日本では資金が提供されていますか？

(参加者) 日本では資金を管理する経営者やトップマネジメントの方々は、サービスユーザーの雇用に関してまだまだ高い障壁が有ります。

(シェパード) お金の管理が出来るトップマネジメントの理解がとても重要ですね。昨日ジュリーさんが話されたことを覚えているでしょうか？彼女の所は部長が双極性障害を持っており、理事長もマタニティブルーであるという事で、当然理解のある方が揃っているのです。

(キャロル) イギリス政府が精神保健サービスの文章の中で、サービスユーザーの参画が必要であると述べていることがとても重要だと思います。

(シェパード) NHS の上にあるイギリス政府が、ユーザー参加が重要であるという事を述べていること、これがとても重要な事です。

(参加者) 日本において行政の判断を待つては良い方向になかなか向かわないと思います。そこで民間のなかで、この様な活動をどんどん取り入れて認知度を高めていくという方法が有るのではないかと考えています。

(シェパード) 勿論ボトムアップの方法で行うことはとても重要です。しかしボトムアップとトップダウンが共に行われれば、画期的な改善がみられることと思います。

有り難うございました。

次回は、ピアサポートワーカー事業の主任であるシャロンさんのお話をお届けする予定です。

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会